

# 高齢者独居率、道内は高水準

国勢調査による北海道の高齢者独居率（2020年10月1日時点）は21・7%。独居率が低い順にみた都道府県別順位では43位と東京都、大阪府など大都市圏とともに下位に沈んでおり、1980年（9%）の2倍超の高水準で高止まりする。高齢者を地域で支え合う共生のインフラ作りが始まった。

# 沼田町、遠隔見守り実験

## 共生のインフラ作り急ぐ

北海道で独居率が最も低かったのは、札幌市近郊の新篠津村（12・2%）。独居者に限って玄関先から公道までなどを無料で除雪する行政サービスの利用者は21年度、36人の上っている。独居または夫婦のみの世帯には緊急通報機器を配った。

独居率は核家族化と人口減で右肩上がりで見守っている。北海道総合研究調査会の五十嵐智嘉子理事長は「道民は直系家



沼田町は奈良県立医科大学などと一人暮らしの高齢者を遠隔で見守るシステムの実証実験を実施

# 士幌町はボランティア増員

族へのこだわりが少ないのではないかと推論する。北海道は20年3月に発表した「北海道人口ビジョン改訂版」で、医療・介護費増加や税収悪化などが「懸念される」としている。

独居率が3番目に低かった沼田町（14・0%）は奈良県立医科大学や同大学発のスタートアップと組み、独居の高齢者を遠隔で見守る実証実験に乗り出した。健康データ

データで読む

# 地域再生

都市部を中心に独居率が高い			
順位		独居率 (%)	5年前比増減 (%)
1	新篠津村	12.2	1.9
2	羅臼町	13.7	0.8
3	沼田町	14.0	▲0.01
4	訓子府町	14.3	1.6
5	南幌町	14.4	1.9
16	当別町	16.2	0.5
20	士幌町	16.4	▲1.7
	北海道平均	21.7	1.2
121	旭川市	22.1	1.0
130	札幌市	22.5	0.9
162	函館市	25.0	1.6

（出所）2020年国勢調査

▲はマイナス

をセンサーなどで蓄積し、通話アプリ「LINE」で遠方に住む家族とデータを共有している。4カ月、約30人が参加した20年の実験は「計測が習慣化し食事を気にかけるようになった」など

と一定の評価を得たが、「機器の操作が難しい」との不満も根強い。22年度は話しかけるだけでデータが拾える機器に切り替えて事業継続を探る。5年前から独居率を1・7%下げた士幌町は、高齢者の話し相手になり、買い物を手伝いもする「たすけ愛」ボランティアを11人から17人に増員した。今後はオンライン会議を使った体操教室も開催する考えだ。調査会の五十嵐理事長は「仕事一筋できた男性はリタイア後ひきこもりになる例も多く、地域で支え合う共生の仕組みづくりは重要だ」と強調す